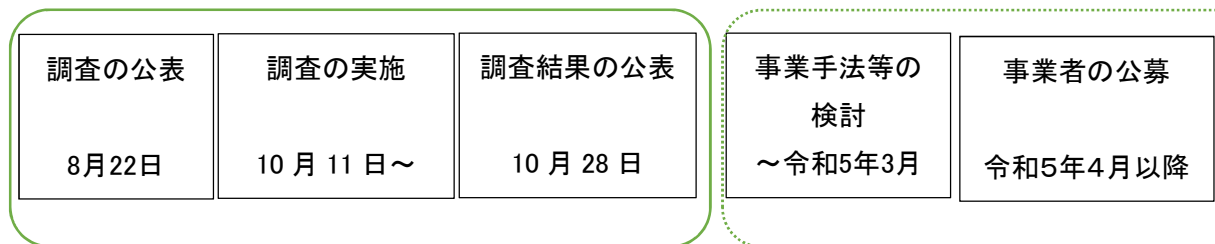


サウンディング型市場調査について

サウンディング(対話)型市場調査とは、公有地等の活用検討の初期の段階において、民間事業者から土地活用方法について、事前に意見や提案を聞くこと(対話)により、土地の市場性や活用条件等をあらかじめ把握する調査手法です。

老人福祉センター跡地の調査は、跡地の暫定利用をはじめとする今後の跡地活用の検討において参考とするために実施します。

【調査の流れ】



【行政側のメリット】

- 土地の市場性、民間事業者の参入意向及び、活用アイデアその他、今後の事業の実現可能性等があらかじめ把握できます。

【民間事業者側のメリット】

- 土地活用に対する行政の考え方を事前に直接聞くことができます。
- 事業者としての考え方を直接行政に伝えることができます。

【その他】

- 対話への参加実績は、事業者公募における評価の対象となりません。
- 対話内容は検討の参考としますが、双方の発言とも対話時点での想定のものとし、以降の事業内容を何ら約束するものではありません。
- 対話への参加に要する費用(書類作成、説明会・現地見学会、対話への参加費用等)については参加事業者の負担としますのでご了承ください。